

太田善之 教授 略歴と業績

略歴

太田 善之(おおた よしゆき)

学歴

- | | | |
|--------------|----|--------------------------------|
| 1977年(昭和52年) | 3月 | 名古屋市立菊里高等学校卒業 |
| 1981年(昭和56年) | 3月 | 名古屋大学経済学部経営学科卒業 |
| 1983年(昭和58年) | 3月 | 名古屋大学大学院経済学研究科博士課程(前期課程)修了 |
| 1986年(昭和61年) | 3月 | 名古屋大学大学院経済学研究科博士課程(後期課程)単位取得退学 |

職歴

- | | | |
|--------------|----|-------------|
| 1986年(昭和61年) | 4月 | 名古屋大学助手経済学部 |
| 1987年(昭和62年) | 5月 | 新潟大学講師経済学部 |
| 1990年(平成2年) | 4月 | 滋賀大学助教授経済学部 |
| 2001年(平成13年) | 4月 | 滋賀大学教授経済学部 |

学会及び社会における活動等

- 日本会計研究学会／日本経営学会／
アメリカ会計学会(American Accounting Association)
公認会計士試験委員(財務会計論)(2010年12月-2013年11月)

主な委員等

- 経済学部副学部長(入試広報担当)(2007年4月-2008年3月)
経済学部副学部長(学務学生生活担当)(2014年4月-2016年3月)
評議員(2016年4月-2022年3月)
経済経営研究所所長(2021年4月-2022年3月)
副学長(入試担当)(2022年4月-2024年3月)



業績

著書(分担執筆)

- 「収益会計」(井上良二編著／『財務会計の進展』／第2編第5章／税務経理協会／1999年)
- 「物価変動会計情報の信頼性」(可児島俊雄先生還暦記念論文集編集委員会編／『会計情報の監査－会計情報の信頼性と外部監査－』／第1部第7章／中央経済社／1990年)
- 「実体維持思考の測定論理」(齊藤隆夫編著／『企業会計論』／第8章／名古屋大学出版会／1988年)

主な論文(単著)

- 「研究開発費の会計に関する一考察」(『龍谷大学経営学論集』第45巻第3号／108-125／2005年)
- 「現金および資本についての管見」(『会計』第161巻／40-55／2002年)
- 「『動的貸借対照表論』における貨幣および資本の解釈について」(『彦根論叢』第323号／117-139／2000年)
- 「シュマーレンバッハ動態論の再検討－その生成と本質に関する一考察－」(『滋賀大学経済学部研究年報』第5巻／129-154／1998年)
- 「会計における『相殺』思考－中和化との関連において－」(『会計』, 第152巻第1号／51-66／1997年)
- 「土地開発公社における会計(1)～(3)－滋賀県内の事例を参考にして－」(『彦根論叢』第303号／29-49／1996年、『滋賀大学経済学部研究年報』第3巻／123-148／1996年、『彦根論叢』第304号／59-80／1996年)
- 「会計学説史研究に関する一考察－静態論および動態論の意義と、それらの史的展開についての考察を中心として－」(『滋賀大学経済学部研究年報』第2巻／79-102／1995年)
- 「会計学における『経済(学)的思考』」(『彦根論叢』第279・280号／349-372／1992年)
- 「長期請負契約の意義とその収益認識基準」(『彦根論叢』第276・277号／245-268／1992年)
- 「正規の簿記の諸原則と実現原則について」(『彦根論叢』第269号／107-129／1991年)
- 「期間損益計算における収益・費用対応についての一考察」(『会計』第136巻第6号／111-124／1989年)
- 「繰延資産および引当金に関する一考察」(『経済科学』(名古屋大学)第35巻第1号／25-67／1987年)
- 「債務者利得と他人資本金融－純額実体維持概念の考え方を中心として－」(『経済科学』(名古屋大学)／第34巻第3号／37-64／1987年)